

### 慶祝

おめでとうございませ  
心よりお祝い申し上げます

◎秋田市長表彰 平成23年7月12日付  
自治振興(町内会長)

高橋 一 安(栖山川口境)

社会福祉(民生児童委員)

佐々木 正 次(栖山城南町)

◎秋田県共同募金会会長表彰  
平成23年4月1日付

募金奉仕(2個人・1町内会)

北條 晃(栖山大元町)

佐藤 義 孝(栖山愛宕下)

築地上本町・町内会

ご協力ありがとうございました

### 東日本大震災義援金(築山地区)

3月11日、東日本大震災が発生したことを受け、中央共同募金会ではご遺族・被害者の方々への支援の一助として義援金を募集しております。

当築山地区社会福祉協議会では、秋田市共同募金会から協力依頼を受け、6月30日までに、100万円を目標に地区内町内会や住民の方々にも協力をお願いした結果、次の募金が寄せられました。(1・2面に関連記事)

- ◎築山社協(基金より) 50万円
  - ◎町内会(59町内) 48万6090円
  - ◎個人(24人) 9万2000円
  - ◎募金箱 4060円
  - 合計 108万2150円
- 右募金額は、7月1日に秋田市共同募金会に送金いたしました。

### 会務報告

平成23年3月～8月

3月1日 「築山社協だより第39号」を発行し、町内会長の手を借りて全世帯に配布

3月11日 地区共募ブロック会議に会長、共募実績報告会に会長と事務局長出席

4月8日 22年度会計監査の実施

4月14日 地区役員会を開催し、総会提出議案及び役員改選を審議

4月22日 地区市民憲章推進協議会、保健推進員会と合同で「地区花見」をコミセンで開催

4月29日 定期総会を栖山コミセンで開催し、平成22年度事業報告、同決算、平成23年度事業計画、同予算、東日本大震災義援金の募集を審議決定し、役員改選を実施

会長に加藤俊悦、副会長に神田武、佐々木洋吉、樋渡久孝、鈴木夏代、監事に石郷岡繁、三浦隆一各氏を選出、顧問に高桑博氏を推薦

総会終了後「災害に備えた支えあいの地域づくり」説明会を市の地域福祉推進室が実施

5月22日 「共同募金だより」を町内会長の手を借りて配布、東日本大震災の義援金を6月中に地区社協への納付依頼

5月28日 第1回グラウンドゴルフ大会を、グラウンドゴルフ友の会の協力を得て築山小学校グラウンドで実施

6月16日 敬老会該当事務所を民生委員、町内会長に調査を依頼

6月21～22日 地区社会福祉協議会

連絡会総会へ会長と事務局長が出席。研修会に事務局長が出席

6月28日 当社協理事の北條晃、佐藤義孝の両氏、及び築地上本町町内会に県共同募金からの表彰状を贈呈

7月1日 東日本大震災の義援金を当社協から50万円、町内会、個人等を含めて合計1,082,150円を市共同募金会へ送金手続

7月4日 社協役員の一部と福祉協力がボランティア活動保険に加入

7月9日 第2回グラウンドゴルフ大会をグラウンドゴルフ友の会の協力を得て築山小学校グラウンドで実施

7月10日 敬老会対象者の取りまとめ

7月14日 敬老会補助金交付申請書を市に提出

7月19日 共同募金運動資材を市共同募金会に申請

7月29日 市社協主催の「いきいきグラウンドゴルフ大会」に2チーム参加

8月2日 敬老会の案内を築山小学校を始め各種団体等に配布

8月3日 敬老会祝宴における演芸等を各団体に依頼

8月7日 敬老会該当事務所に案内状を民生委員、町内会長を通じて送付

市社協だより第53号を町内会長の手を借りて全世帯に配布

### 謹んで哀悼の意を表します

築山地区社会福祉協議会

副会長 清治 清作 殿

平成23年4月4日死去・82歳

### 築山地区敬老会のお知らせ

当社協主催の恒例23年度築山地区敬老会を次のとおり開催します。満75歳以上(今年度3月末日現在)の皆様は町内会長を介してご案内いたしますので、お誘い合わせの上ぜひ御出席下さい。

日時 9月20日(火)午前11時  
会場 栖山コミュニティセンター

### ◆編集後記◆

7月末の大雨で、太平川の水高が増えた町内では排水路に逆流、あわや一部床下浸水という事態が起りました。災害に遭わず「運が良かった」では済まされません。洪水は起つて当り前という認識を持ち防災・減災に取り組むことです。福島第一原子力発電所事故でジャパンは大騒動。核の炉心熔解、放射性物質の拡散、風評被害など発生以来5ヵ月余、新聞に載らない日は1日とてない状況です。8月は66年前、広島に世界初の原子爆弾が投下されました。原爆と原発は共に「シマ」の似た音、被爆地と被災地は共に「シマ」がきます。何かの因縁でしょうか? 東日本大震災の犠牲者の新盆、鎮魂の8月でもありました。(北條 晃)

### 編集委員

- 北條 晃
- 加藤 俊悦
- 樋渡 久孝
- 久孝

連絡先(事務局) 樋渡 久孝

### 築山地区防災の課題は何か

築山地区社会福祉協議会 会長 加藤 俊悦

3月11日に発生した未曾有の大地震と巨大津波で、1万5千人以上の尊い命が一瞬のうちに奪われてしまいました。現在も行方不明者が約5千人を数え、約9万人の方々が避難生活を強いられています。被災された方々や関係の皆様は衷心からお見舞いを申し上げます。

この東日本大震災による大災害は、地震国と称される我が国のこれまでの防災対策を根幹から見直す必要性を示唆するものであります。本地区では、地域防災組織の強化と、いざというときの避難行動の在り方などを考える一助となるよう「築山地区防災シンポジウム」大地震、水害・土砂災害から身を守るために、10月1日に開催することとし、後日ご案内を各家庭や施設・機関等にお届けします。

このたびの巨大津波の脅威を痛感させたのは、岩手県陸前高田市の気仙川の事例です。河口から6キロも離れた地点で、川を駆け上がった大津波で多数の家屋が流されました。(5月10日付の秋田魁新報・北斗星)

私たちは、太平川を懐に、風光明媚な恵まれた景観に抱かれながら心地よい日々を過ごしていますが、このたびのように想定外の事態がいつ生じないとは限りません。特に市街

地では、海がよく見えないため、多数の住民が逃げ遅れる危険性を専門家が指摘しています。地域の皆様からは是非このシンポジウムにご参加いただき、日頃の防災への備えを万全にしてほしいと思います。

さて、秋田市共同募金会では、このたび被災された方々への義援金を募りました。おかげ様で、1千8百万円を超えるご厚意が集まりました。築山地区社協の募金活動では、108万2千円の義援金が寄せられました。ご協力をいただいた皆様は心からお礼と感謝を申し上げます。

なお、この義援金の配分が遅いという報道があります。共同募金会の説明によると、役場の流出や、職員の犠牲で手続きに支障を来したり、住民基本台帳紛失のために配分が難航しているそうです。いざれにしても、私たちの現地を想う心が一日も早く被災者に届けられるよう切に願うものであります。

最後に「安心キット事業」では、約300本のキットが地区内で設置されています。新たに利用したい世帯は、社協役員、民生委員、町内会長等にご連絡下さい。これからも、地区社協事業の推進に皆様からのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 築山社協だより

## 第40号

平成23年9月1日

築山地区社会福祉協議会

発行人 加藤 俊悦  
(題字：茂林)



鹿嶋神社は栖山登町(旧追廻町・御舟町ともいう)にある。今年7月3日の祭典、「鹿嶋流し」は葦で作った山車いっばいに紙装束の武者人形を飾り、追廻地域を引き回したあと、町内の悪霊を雄物川に押し流す習わしが行われた。新城 巖氏撮影



築山小学校安全ボランティアと同校児童との対面式が行なわれ、児童代表からお礼のことばをいただく（6月25日・体育館）。子どもたちが安全・安心して登下校や放課後を過ごせるよう、日頃100名超のボランティアが見守り活動をしている

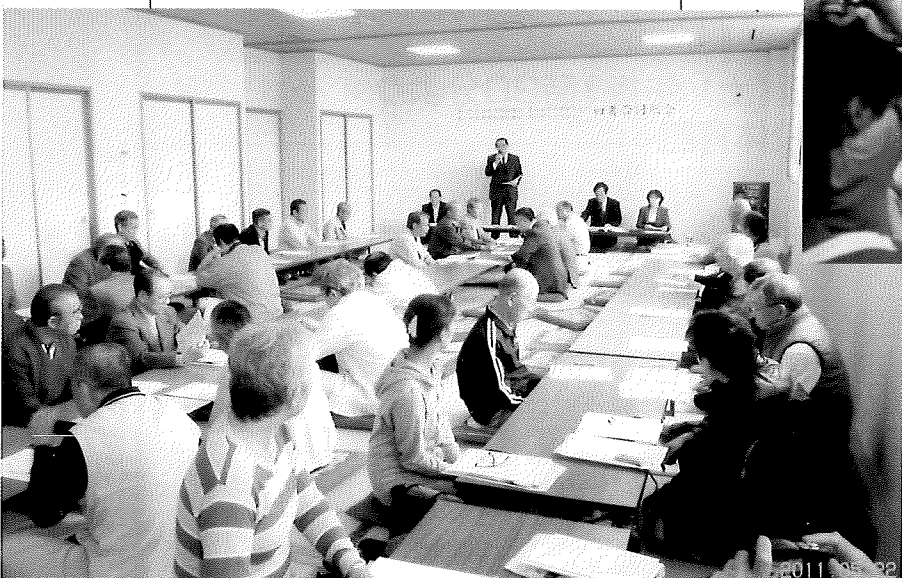


榎山踏切付近で登校の児童を見守る安全ボランティア



2011.06.25

築山地区の町内会長連絡協議会、市民憲章推進協議会、保健推進員会、火災予防組合の4団体合同総会が開催され、関係者により案件を協議（5月22日・榎山コミセン）



築山児童センターに常設の「ひばりクラブ」。子育てに励む一人親家庭への支援を目的に、社会福祉法人秋田婦人ホームが運営する。主に築山小学校低学年児童約60名が登録され、田岡愛子指導員（右）たちと放課後（夏休期間も継続）の生活を共にしている。この日は7月の「誕生日おめでとうパーティ」、お祝いのケーキはお持ち帰りとのこと

### 築山地区

## 地域活動

## 写真で見えるまちの動き

日本赤十字社秋田県支部の職員が指導した防災講座・炊出しの実習。災害救護用の非常食は玄米1合、梅干1個と水を小さな袋に入れ、炊出しされるまで約45分かかった。7月10日・榎山コミセン（築山地区自主防災連絡協議会と同・市民憲章推進協議会の共催）



地域サロンのグラウンドゴルフ友の会では、例会日に特別、年4回の大会を主催する。このスナック（上）は7月9日・第2回目の大会前の一コマ。毎回約60人が参加しており、入賞は20位まで。ホールインワン賞も。（下）は7月23日・例会日のプレー（築山小）

